

令和4年度 豊岡市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員： 2 名
- 2 認知症地域支援推進員の役割： 認知症施策担当
 - (1)普及啓発・本人発信支援
 - (2)予防
 - (3)早期発見・早期対応
 - (4)医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
 - (5)認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

報告者氏名： 林 恭子 山田 晃子

豊岡市 認知症施策全体図①

視 認 し 知 て 症 、 の 取 人 組 や み そ を の 行 家 う 族 の 視 点 を 重	五つの柱	豊岡市の取り組み（第8期）
	①普及啓発・ 本人発信支援	a. 認知症サポーター養成と受講後の活動の支援 b. 認知症キャラバンメイトの活動支援 c. 身近な場における認知症理解の普及・啓発
	②予防	a. 認知症予防講座の開催
	③早期発見・ 早期対応	a. 地域包括支援センター等に早期に相談につながる仕組みづくり b. 認知症疾患医療センター、かかりつけ医等との連携 c. 認知症ケアネット（国：認知症ケアパス）の周知・活用 d. 認知症初期集中支援チームの周知・活用

豊岡市 認知症施策全体図②

て、認知症の人やその家族の視点を重視し、取り組みを行う	五つの柱	豊岡市の取り組み（第8期）
	④医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	<ul style="list-style-type: none"> a. 認知症地域支援推進員の設置 b. 介護従事者等に対する研修・事例相談会の開催 c. 認知症の人と介護者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの周知 ・認知症カフェ等の立ち上げ支援および運営支援 ・認知症家族介護教室の実施
	⑤認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援	<ul style="list-style-type: none"> a. 若年性認知症の人と家族への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の周知 ・若年性認知症の人と家族のつどいの実施 ・若年性認知症生活支援相談センター等との連携 ・当事者の居場所づくり・社会参加への支援 ・当事者および家族の思いの発信 b. 権利擁護の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者行政窓口、弁護士会等職能団体との連携 ・市民後見、法人後見の検討 ・権利擁護研修会の実施 c. 地域見守り体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守りネットワークの充実 ・認知症高齢者等見守り・SOSネットワークの充実 ・個別ケア会議の開催

標題 豊岡市 身近な場における認知症理解の普及・啓発

～R2 認知症フォーラムの実施



イベント型の普及啓発
参加者が限定されてしまう・・・

R3 DVDの作成 「認知症とともに～身近な場における認知症の普及啓発～」

<工夫>

- ・認知症という疾病感を変えられるよう、「認知症」ではなく「人」をみる
- ・分割して視聴することが出来るよう2本立て
- ・視聴しながら、考えてもらえるような内容



地域やコミュニティなどの身近な場での普及啓発に転換
いつでもどこでも参加できるようにしたい！

R4～ DVDの貸出による普及・啓発

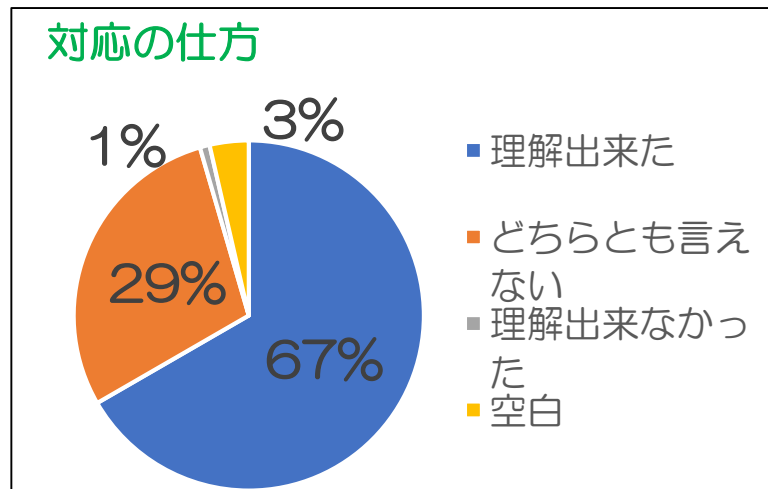
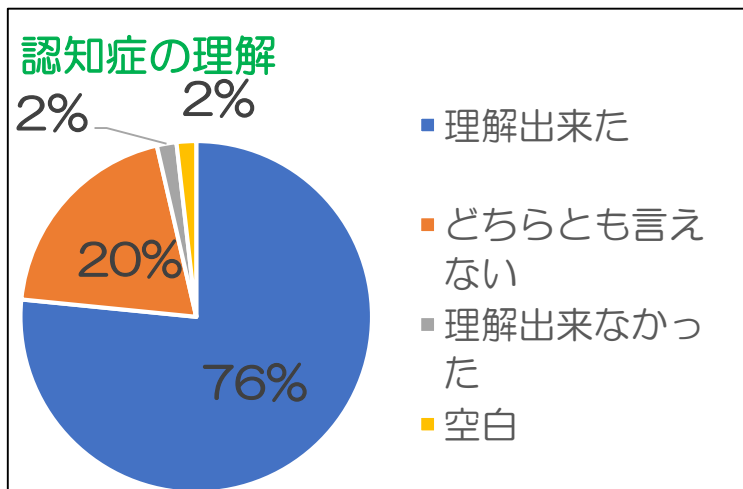
- ・HPや市広報、地域への周知

貸出回数	視聴人数	貸出団体
14回	202人	民生委員研修会 老人会 訪問介護事業所 等

※希望により、保健師や作業療法士を派遣し、DVDの内容を補足するなどの講話も行った。

標題 豊岡市 身近な場における認知症理解の普及・啓発

視聴後のアンケート結果



認知症の人へどのような支援ができるか

- ・見守り、声掛け、よりそい
- ・地域のコミュニケーションの必要性を感じた
- ・普段からの近所付き合いが大切

など

地域として認知症の方へどのような取り組みができると思うか

- ・集まりへの参加を促進する
- ・地域で顔の見える取り組み
- ・ゴミ出しや回覧板など、身近なことから取り組みたい

など

標題 豊岡市 身近な場における認知症理解の普及・啓発

DVDを作成して感じたこと

⇒視聴している様子や感想から、「難しかった」という意見もあったが、「自分事として捉える機会となった」との意見が多かった

⇒会場では視聴しながら、認知症についての様々な思いを参加者同士で話し合う姿があった

⇒参加者の多くは、家族や身近な人が認知症だったという介護の経験があった。家族を含め地域全体に、認知症についての正しい知識の普及・啓発が必要と感じた

• 最後に…

今後さらに、DVDを視聴していただく機会をどのようにPRしていくかが課題

市民だけでなく、専門職にも認知症の理解を促し、どのようにかかわっていくのかを考える機会になる内容なので、地域の団体に限らず広めていきたい

認知症とともに生きる社会にするために、正しい知識の普及・啓発を行うと同時に、今、実施している認知症施策を充実させながら、当事者や家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを目指していきたい